

# 交差点 101号

発行：札幌市交通安全運動推進委員会  
令和4年12月

しんごうが まばたきはじめた はい!とまれ!

全日本交通安全協会会長賞(佳作)

反射材 主役になります 暗い道

全日本交通安全協会会長賞(佳作)

「令和4年使用交通安全年間スローガン」(全日本交通安全協会・毎日新聞社)より

## 冬の交通安全について保護者の皆さまへ

もうすぐ、子どもたちが楽しみにしている冬休みがやってきます。

子どもたちは雪遊びやウィンタースポーツなど屋外での活動が活発になり、また、ご家族で外出される機会も増えることと思います。

降雪や気温の低下などにより路面状況が大きく変化するこの季節は、車のスリップ事故が多発し、子どもを巻き込んだ交通事故の危険性が高まる時期でもあります。

悲惨な交通事故にあうことなく、冬休みを楽しく安全に過ごせるよう、日頃から交通安全についてご指導いただき、交通安全意識を高めていただきますようお願いいたします。

## 交通事故にあわないために



## 4つのやくそくを守りましょう!

道路をわたる前に



凍結路面で車が滑り出てくる  
ことがあるので**注意!**

車が来ないか



雪山で見通しが悪くなる  
ので**注意!**

車の音を



雪が音を吸収して聞こえ  
にくくなるので**注意!**

車が通り過ぎるまで



車は急に止まれません。  
安全をしっかり**確認!**

# 中学生以下の交通事故発生状況(令和3年12月～令和4年2月)

中学生以下の子どもの状態別・月別傷者数  
(令和3年12月～令和4年2月)



令和3年12月～令和4年2月の3か月間でみると、市内で交通事故によりケガをした中学生以下の子どもは40人で、半数以上に当たる22人が、自動車同乗中の事故によるものでした。冬期間は路面凍結による事故の危険があるため、特にスピードダウンや早めのブレーキなどの安全運転を心がけましょう。

また、大人も子どももシートベルト（またはチャイルドシート）を必ず全席で着用することを徹底し、大切な命と身体を守りましょう。

## 冬の交通安全指導のポイント

### ●自転車には乗らない

冬道は滑りやすく、自転車の利用は大変危険です。  
冬期間は自転車を利用しないように指導しましょう。

### ●道路わきの雪山に登らない

誤って道路に滑り落ちる危険があります。  
また、雪山のかげからの飛び出しにも注意しましょう。

### ●時間に余裕をもって行動する

車は急に止まることができません。左右をよく見て、焦らず横断させましょう。  
また、冬道では転倒の可能性が高くなりますので、走らないよう指導しましょう。

### ●夜光反射材や、目立つ色の服を着用する

冬期間は暗くなるのが早いので、ドライバーから子どもが見えやすくなるよう、夜光反射材を身に付けさせましょう。また、明るい色の服装で、雪の中でも目立つようにさせましょう。

### ●建物からの落雪に注意する

落ちてきた雪や氷による事故を防ぐため、軒下では遊ばせないようにしましょう。